

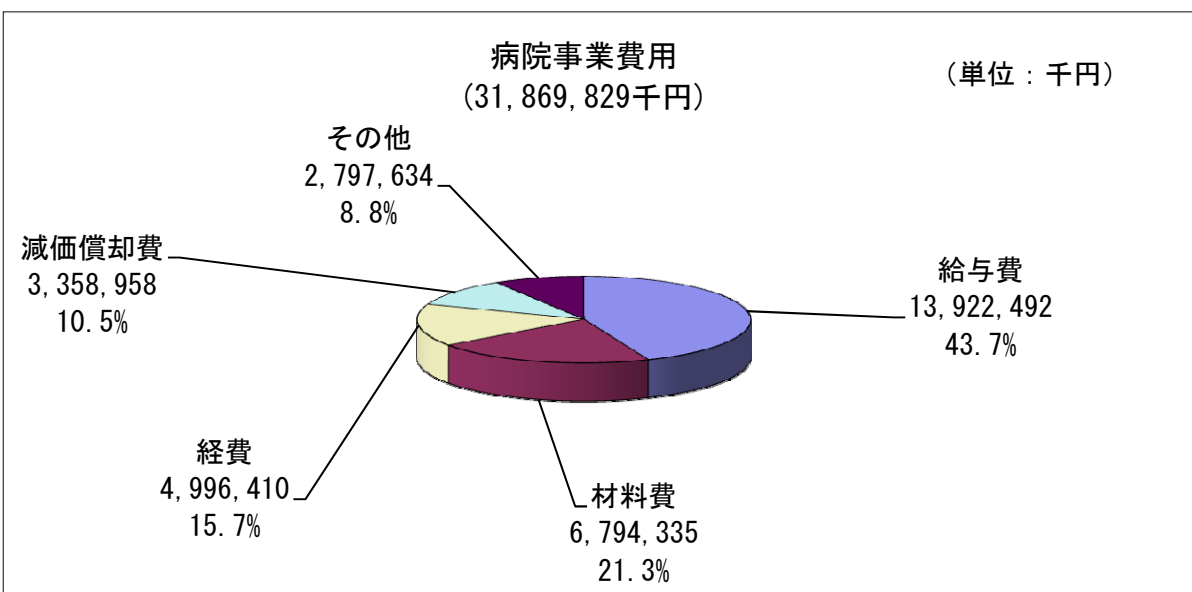
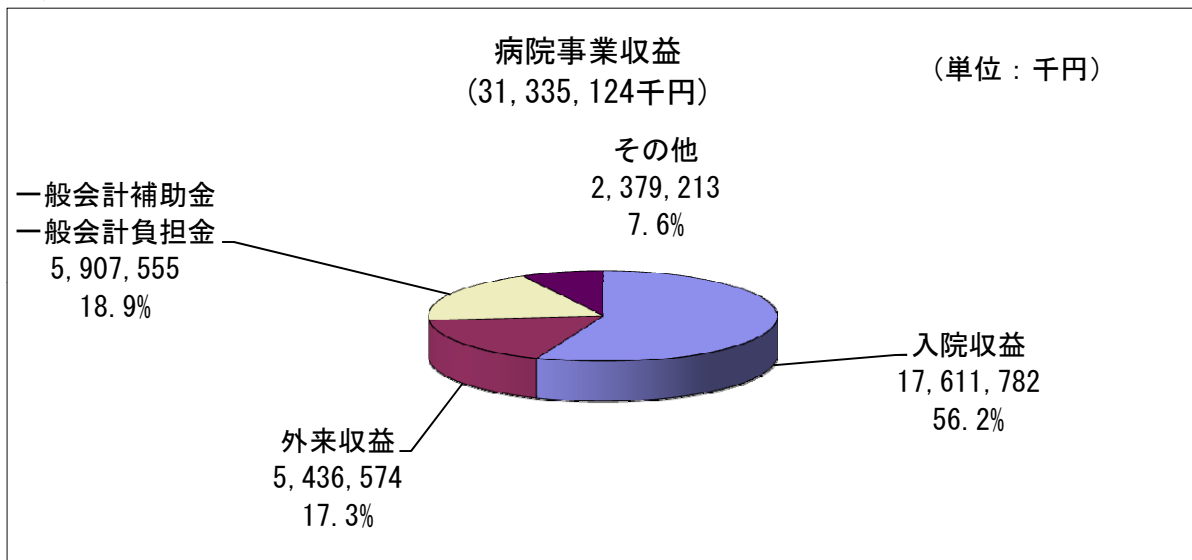
名古屋市病院局 平成25年度予算の概要

平成25年度の病院事業会計の収益的収支予算は、総事業収益を313億3,512万円余と見込み、総事業費用を318億6,982万円余と見込んでいます。市立病院としては、経営改善に努めているものの、経営環境は引き続き厳しい状況にあるため、5億3,470万円余の赤字予算を編成しています。

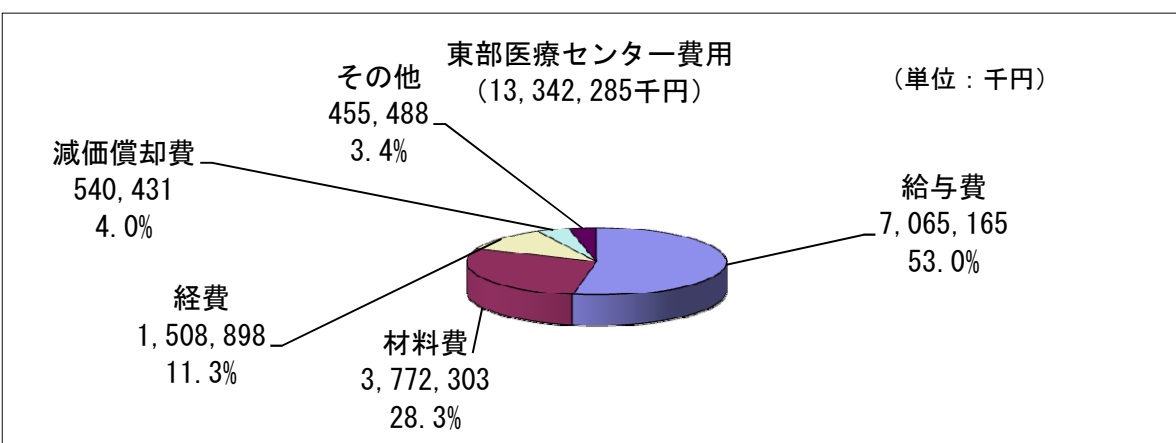
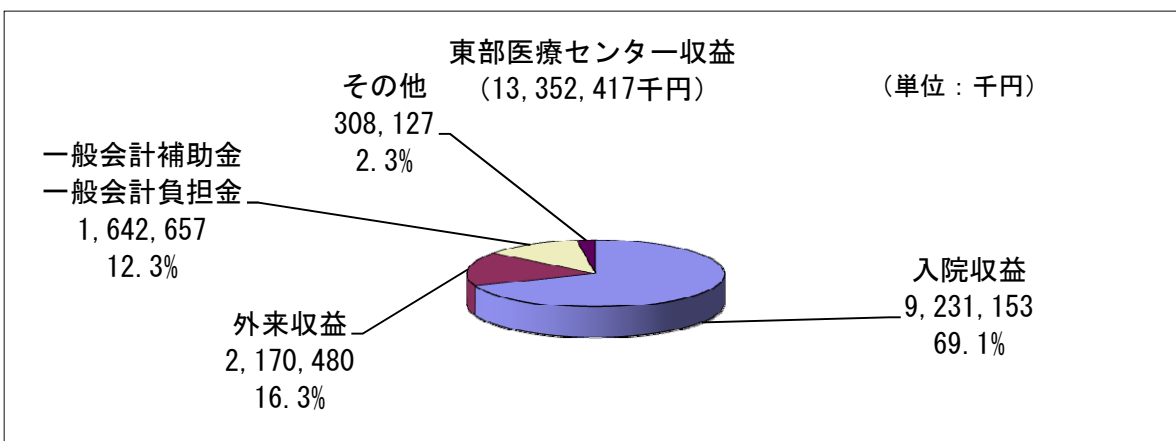
平成25年度の重要事項としては、名古屋陽子線治療センターにおいて前立腺がんに加え、肺がん、肝臓がんなどの治療を開始するほか、日本初となるスポットスキニング照射を開始するとともに、西部医療センターの「併設型施設」として様々な治療法を組み合わせたがん治療を提供します。また、市民等からの寄附金を受入れ、施設整備や備品購入等に充てる資金として積み立てる基金を設置します。その他に、災害拠点病院として災害派遣医療チーム（DMAT）用の診療用具・車両等を整備するほか、災害時に迅速かつ円滑に医療活動を行うため、病院情報システムのバックアップを外部施設で保管するとともに、職員の食料・飲料水等の備蓄を行います。

平成25年度の主な建設改良事業としては、平成24年度に引き続き、東部医療センターにおいて365日24時間患者を受け入れる「断らない救急」の実現を目指し、救急・外来棟の改築を行います。また、医療機能の更なる充実を図るため、東部医療センターにおける病棟の改築に向けた設計を行います。その他に、西部医療センターでは血管連続撮影装置を購入し、緑市民病院では病院情報システムの整備を行います。

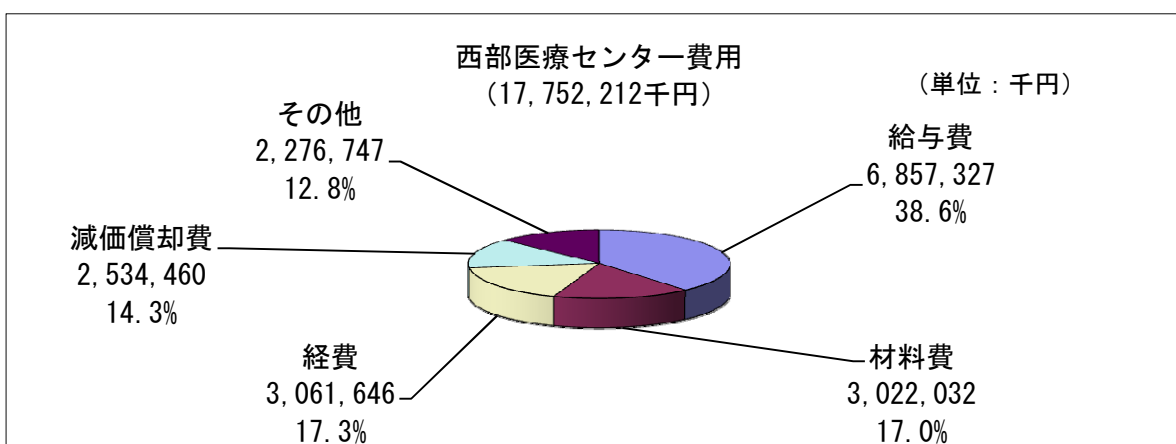
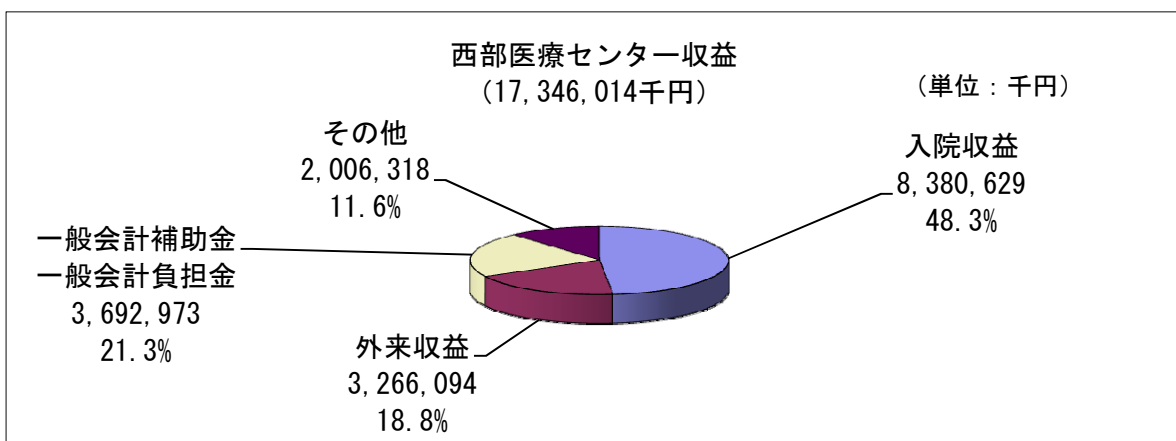
病院事業会計の収支



東部医療センター



西部医療センター



緑市民病院

